

令和6年度地域貢献プロジェクト事業報告書

キャンパス名 旭川校
代表者氏名 高橋 一将

プロジェクト名	Co-Creation in HUE (CCinHUE) プロジェクト
プロジェクトの概要	<p>本プロジェクトが実施する活動「えんぴつとはし」は、旭川市と近隣町の小学生・中学生を参加対象としている。弁当代とレクリエーション保険代を本プロジェクトが負担するため、参加費は無料である。活動は、毎月第2・4月曜日（祝日除く）の16～18時に本校の福利厚生施設1階で実施する。本学の学生が学生ボランティアとして参加し、小・中学生へ学習支援を行う。その後、学生と教員も含めた参加者全員で夕食として弁当を食べる。</p> <p>報告書提出時点（2025年3月7日）までに17回の活動を開催した。なお、すべての活動を終えた後（3月24日が最終活動日）に、本プロジェクトによる活動の効果検証を目的とした調査を保護者と学生ボランティアに対して行う予定である。</p>
地域・学校・子ども等に還元した成果	<p>子どもたちの参加者数は、本プロジェクトが子どもたちにとって効果があることを証明している。報告書提出時点（2025年3月7日）で、延べ1,246名の子どもたちが活動へ参加した。内訳をみると、小学生が1,064名、中学生が182名である。17回の活動での延べ参加人数であるため、平均して約73名の子どもたちが活動に参加したことになる。昨年度の活動の平均参加人数が約46名であったため、参加者数が1.5倍以上になっている。この子どもたちは、本活動によって、学校外での学びの場の提供と、学年を超えてみんなで夕食を楽しむ機会を得ることができた。これらが子どもたち、そして、保護者にとって有益であったため、1,000名を超える参加者になったと考えられる。</p> <p>本プロジェクトの活動趣旨に賛同した地域の配食事業者、レストラン、弁当から、計854食のお弁当の無料提供を受けた（報告時）。また、それらの無料提供元へ、地域の農家や個人から食材の無料提供も行われた。加えて、今年度は、市内の他大学短期大学部の教員とその学生と協力し、豚汁の提供を行った（2月10日の活動）。このように、本活動を拠点として、地域の子どもの未来に向けた活動の輪が広がってきている。</p>
学生資質向上・教職資質向上のために果たした成果	<p>現時点で、延べ422名の学生ボランティアが活動に参加した。1回あたり約25名の学生ボランティアが参加してきたことになる。参加した学生の専攻もさまざまであった。学生ボランティアは、活動において、子どもたちに勉強を教え、また、夕食時にコミュニケーションをとる。子どもたちは自身が持参した宿題やドリルを学習するため、学生ボランティアは、その場で考えながら他学年・各教科の内容を教えなければならない。もちろん、学習支援や夕食を共にする際に、子どもたちとのコミュニケーションは不可欠である。これらの機会は、学生が子どもたちの実態を知り、彼らとのコミュニケーションに慣れ、そして、講義で学んだ内容を実践する貴重な場となっている。理科教育専攻に限らず幅広</p>

	<p>い専攻の学生に対して、こうした場の提供ができたことが重要な成果である。</p>
<p>キャンパス及び大学への貢献</p>	<p>さまざまな広報活動を通じて本プロジェクトとその活動の存在を広めてきた。今年度は、近隣の小学校 17 校と中学校 8 校に、全児童生徒数分のチラシを配付した。新聞社から取材を受け新聞に掲載され、また、テレビ局から取材を受け放映された。公式 HP も開設し、継続的に各種 SNS を更新することで、日々、活動状況を報告している。</p> <p>チラシを配布してから 1 年が過ぎようとする現時点においても、新規参加者は途絶えない。よって、本活動が旭川校で実施されているということは、旭川市内で広く認知され始めている。つまり、市内外の多くの人々に本校が教育によって地域に貢献していることを広く知らせることができていると考える。</p> <p>さらに、本プロジェクトの立ち上げから今年度前半までの活動報告と効果検証の結果を論文にまとめ、本学紀要に投稿する予定である。</p>

※プロジェクトに関係する資料がある場合は、併せて提出してください。